

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	令和元年度にしく市民活動支援センター運営事業	
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人市民セクターよこはま
	行政	西区役所 地域振興課
事業の目的	市民公益活動、生涯学習活動及びボランティア活動の支援を通して、市民の理解と参画のもとに、区民力の向上による豊かな地域づくりを図ること。	
事業の内容	市民公益活動に関する相談対応、情報提供・発信、活動の場（軽易な打合せスペース等）の提供、地域人材ボランティアバンク事業に関すること、区民利用施設等との連携による活動支援や団体運営の支援など	
役割及び責任分担等	次頁のとおり	
実施期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日	

記入日	令和 2 年 4 月 9 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま ・記入責任者 氏名： 加世田 恵美子 連絡先： 045-620-6624
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 西区役所地域振興課 ・記入責任者 地域振興課長 氏名： 西野 誠 連絡先： 045-320-8393

役割及び責任分担等

事業項目	受託者の役割	委託者の役割
にしく市民活動支援センターの管理運営に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 設備の管理 2 軽微な維持修繕 	<ol style="list-style-type: none"> 1 設備の提供 2 設備の管理に関する調整及び協力
にしく市民活動支援センター事業に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民公益活動等のネットワーク化 2 市民公益活動等の相談対応 3 市民公益活動等に関する情報提供・発信 4 市民公益活動等に関する活動の場の提供 5 地域人材ボランティアバンク事業の実施 6 区民利用施設等との連携による活動支援 7 自主企画事業の企画・実施 8 その他市民公益活動に関する企画及び実施・活動支援 	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民公益活動等のネットワーク化についての調整及び協力 2 市民公益活動等の相談対応についての調整及び協力 3 市民公益活動等に関する情報提供・発信についての調整及び協力 4 市民公益活動等に関する活動の場の提供についての調整及び協力 5 地域人材ボランティアバンク事業の実施についての調整及び協力 6 区民利用施設等との連携による活動支援についての調整及び協力 7 自主企画事業の企画・実施についての調整及び協力 8 その他市民公益活動に関する企画及び実施・活動支援についての調整及び協力
事業改善に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者のニーズ把握とサービス向上 2 運営事業団体として必要になる事業の検証 3 横浜市として必要になる事業の検証への協力 	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者のニーズ把握とサービス向上についての調整及び協力 2 運営事業団体として必要になる事業の検証への協力 3 横浜市として必要になる事業の検証
その他支援センターの管理運営等にあたり必要となる事務事業に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用統計 2 運営事業団体として必要となる情報公開及び説明責任に関する業務 3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究 4 その他、区が行う市民公益活動等に関する施策・事業への協力 	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用統計についての調整及び協力 2 横浜市として必要になる情報公開及び説明責任に関する業務 3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究についての調整及び協力 4 横浜市役所内部の連絡調整

2 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり

(協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

<共有できたこと>

- ・2019年度は管理運営の受託2期目の初年度であり、今後3か年の重点テーマを設けました。テーマを設けることで事業企画に深みを持たせることができました。
- ・施設連携会議、相鉄6区会議、意見交換会などの運営において、適宜参加や運営実務をいただき、施設の状況や課題を共有することができました。段階で事業目的や内容を共有し、実施することができました。
- ・外国につながる子どもたちへの支援について、事業内容などを定期的に情報共有することで、事業の方向性や課題などを共有することができました。
- ・区役所の避難訓練へオブザーブ参加しました。今後とも実際に災害が起きた際は、センターは区役所建物内にあることから、区役所と連携を行い対応をしたいと考えています。
- ・地域振興課がつなぎとなり、にしとも広場とみなとみらい地区との接点を作ることができ、MMタワーズ理事会に出席することができました。
- ・新型コロナウイルス拡大防止のため、3月3日～3月31日を臨時休館としました。登録団体には自治会町内の登録もあり、印刷機利用のニーズが一定数あることから、区と協議し、印刷機の利用を可能としました。
- ・にしとも広場を居場所として長時間利用・滞在する利用者について、随時状況を区と共有し相談しながら、他の利用者への声掛けや施設環境の調整を行いました。

<認識に違いがあったこと>

- ・事務取扱要領を大きく変更することは、ハードルが高く、改正するに値する理由が必要です。また、個別事業者の運営に沿った内容ではなく、幅をもった内容にしておく必要があります。

【今後改善が必要と思われること】

- ・事業の目標設定などについて打ち合せを行い、事業に対しての方針を決定することが必要です。
- ・事務取扱要領の変更など、行政文書を変更する場合は打ち合わせを実施した上で、すり合わせが必要です。
- ・次年度事業計画書について、現在書面提出のみとなっていますが、当年度の振り返りに加え、次年度の目標やお互いの立場や役割について、再確認する場を設けることが必要ではないかと考えます。

事業実施

(協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

<共有できたこと>

- ・日々のセンターに寄せられる相談や利用者の様子、事業の進捗について、月1回の定例会議を行い、進捗具合や課題と感じていることについて共有、確認しました。
- ・地域振興課事業の「ブックスタンプラリー」では、普段訪れない方がにしとも広場に立ち寄り、知っていただくきっかけとなりました。
- ・通常区庁舎会議室は本市職員が使用するものですが、にしとも広場の利用増加を鑑みて、引き続き会議室や物品の貸し出しを行うことができました。
- ・にしとも広場ホームページの外部サーバー更新にともない、URLが変更になりましたが、都度お互いに情報共有を行っていたことで、迅速に利用者への周知が実施できて、問題なく移行することができました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした臨時休館では、地域の声を早急に区に伝え、印刷機の利用について協議を行い、印刷機の利用を可能としました。

【今後改善が必要と思われること】

- ・定例会においては、センター事業についての進捗報告や提案を受け止めていただけていますが、協働で運営をしている観点から、地域振興課のネットワークや情報、地域の課題やニーズなどについて、引き続き積極的に共有し意見交換を行いたいと考えます。

事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・より多くの区民の方にセンターを知っていただくため、前年度に引き続き、「うたごえ広場」「昼どきコンサート」「来て・見て・聞いている日」「みちあそび」等各種イベントを行い、継続して実施した結果、来館者数が増加しました。(2019年度 9,616名←2018年度 8,872名)
- ・にしとも広場が出張することを説明PRし、出張コンサート(2件)の開催につながりました。特にみなとみらいマンションでの「新春コンサート」では、「街の名人・達人」の仕組みを知っていただく機会にもなり、今後も音楽団体のコーディネートが期待できるきっかけとなりました。
- ・にしとも広場の玄関ドア改修工事では、にしとも広場と現場での使いやすさや不安点など聞き取り、区庁舎管理担当と調整して、希望する仕様で取付ができました。(車いすやベビーカーの方の出入りに困難があった入り口の段差解消)
- ・にしとも広場に御意見をいただいた利用者情報を定例会議で共有したため、地域振興課にも御指摘いただいた際に状況が把握できる状態に対応できました。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とした臨時休館では、地域から印刷機利用の要望があった際に、柔軟な姿勢で迅速に協議をいただいたことで、18区で初めて印刷機が利用できるようになりました。

自由記入欄

- ・2019年度は西区役所に移転して4年がたちました。区役所建物内にあることの利点が生きてきて、当センターの認知度が格段に上がってきたことを感じる一年でした。またスタッフも積極的に地域に出て、地域との関係づくりも進めた結果、区内施設や地域のキーパーソンとのつながりも深まってきました。
- ・引き続き、四半期ごとの組織会議を実施しました。日常では情報共有・意見交換がしにくい役職者同士、しっかりと話ができる場となりました。
- ・より広く、地域・人と活動のつながりづくりをしていくために、より一層協働の自覚を持ち、互いのネットワークや情報を共有、相談していきます。